

【目的】

歯面冷却可能な高出力パルス青色LED光照射器CoolBrightエクスリミット(ナノオブテック有限会社)と低濃度過酸化水素漂白ジェルを用いた、オフィスホワイトニング希望患者数、ホワイトニングから派生する審美歯科治療率、歯科医師・歯科衛生士のモチベーションの変化についての、評価・検討

【方法】

当院に2018年一年間で来院した新患426名を対象とした。説明と同意取得後、ホワイトニングを希望された107名をA群、希望されなかった患者をB群とした。A群に対し、漂白材として試薬5.9%過酸化水素水(協和純薬)とゲル化剤(ナノオブテック有限会社)を塗布し光照射5~12分を3回繰り返し漂白処置を行った。その後、自費審美治療を選択されるかを確認した。自費審美治療は、イ)補綴(E-max, ジルコニアによる修復を選択するか、保険診療でのメタル修復を選択するか)、ロ)ダイレクトボンディング(自費CR充填か、保険CR充填か)について統計を行なった。また従業員5名(診査、診断と説明、同意取得を行う歯科医師2名、歯科医師の指導による照射条件の実行を行う歯科衛生士3名)に対し、以前の勤務先と、当院を比較し、職場での満足度など8つの項目に対し、から5段階アンケートを行った。



国内認証医療機器
CoolBrightエクスリミットによる
アルティメットホワイトニング2X

【結果】

ホワイトニングを実施した患者の症例

(術前:左 術後:右)



32歳女性。照射回数5分×3回



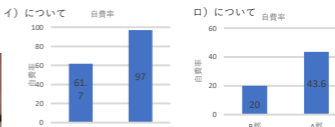
32歳女性。照射回数5分×3回



34歳女性。照射回数5分×3回



52歳男性。照射回数5分×3回

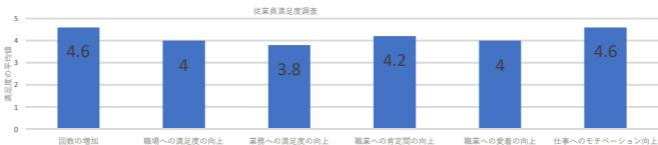


イ)について、A群で97.00%の自費率、B群で61.70%の自費率となり、ロ)について、A群の自費率は43.60%、B群について20.00%となり、その差は2.1倍となった。結果、ホワイトニングを行うことは、自費審美治療率の向上に大きく寄与する可能性を示唆した。

実際にホワイトニング後に自費診療を実施した患者の症例
(術前:左 術後:右)



また、ホワイトニングの施術を行っている当院の歯科衛生士に対して、従業員に対するアンケートを実施。無記名調査にて、以前勤めていた職場と比較した5段階評価(1:まったくそう思わない~5:非常にそう思う)の回答結果の平均値を集計



従業員においても比較的高い満足度を示す結果を得た。

【考察】

自費治療を患者が選択することは、金額など様々な面で心理的なハードルがあることが考えられる。また、自費治療の選択は、医療従事者側が考える理想的、必要な治療、治療計画の受容の1つの指標だと考えている。その中で自費審美診療を選択する率が、ホワイトニングを先に行った方が向上する結果が出たこと、そしてその割合の高さとはとても興味深いものである。また従業員の満足度も、ホワイトニングを行うこと、そしてホワイトニング後の自費審美治療が、従業員の職場満足度や、モチベーション向上などに対して、よい効果を寄与する可能性が示唆された。

ただし、2018年の日本アンチエイジング歯科学会で投稿した文献が示すように、今回のホワイトニング法では、77名中10名のB1以上の発生など初回での高度なホワイトニング(ジャンピングスタート)達成の結果が出ている。初診の段階で白くならない従来の方法では1顧客のモチベーション、2スタッフのモチベーションが上がらず、他の自費治療に結び付かない可能性、また知覚過敏などのネガティブな印象はやはり顧客とスタッフのモチベーションを下げる可能性が考えられる。